

人工大理石のキッチン笠木の製作について

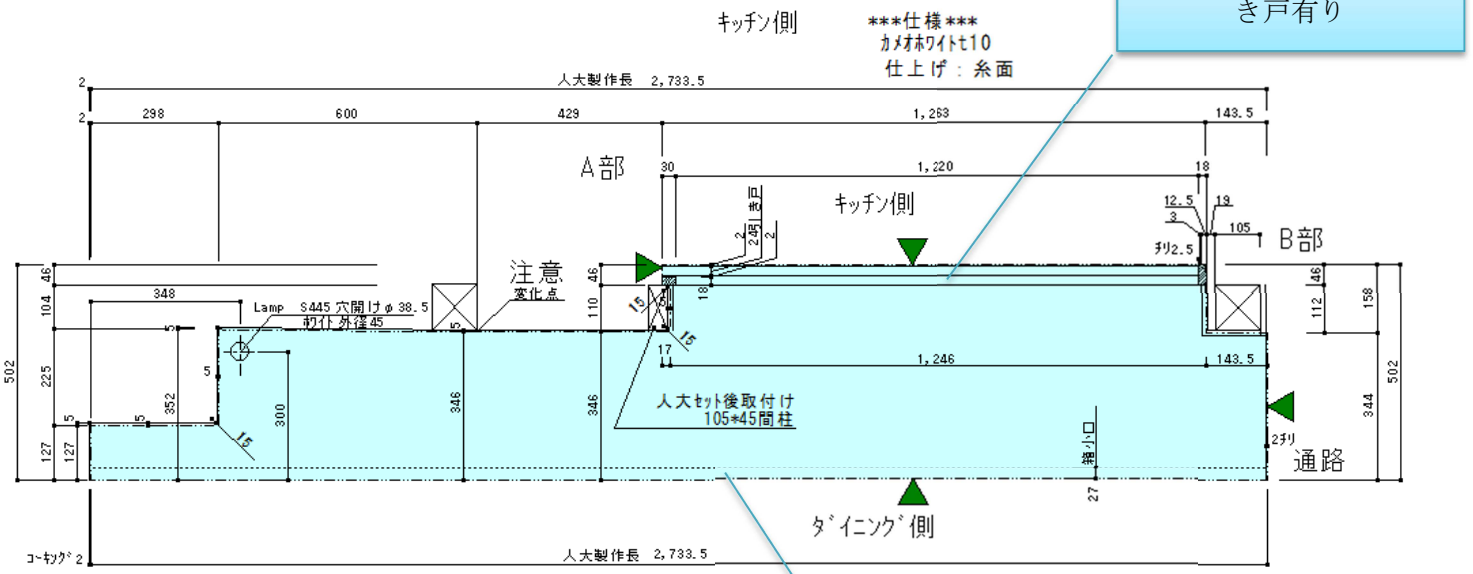
今回は人工大理石のキッチン笠木の製作でダイニング側はカウンター収納の天板として、キッチン側は笠木として共有するものである。

そこで、ダイニング側の収納ボックスがセット出来た段階で人工大理石の笠木形状を薄ベニヤにて型取りをして形状を下図のように図面化しました。



笠木天板の薄ベニヤでの型取り状況。

7/11 確定図 キッチン人大天板加工図
人大納まり図 S=1/8



この天板は石膏ボードに5mm程度呑み込む寸法で製作します。それによりコーキング等の隙間充填を出来るだけ無くしています。

ダイニング側
カウンター収納



ダイニング側

T10 人大天板をシリコンコーキング剤で固定、養生中です。

キッチン側

キッチン側 t10 人大天板をシリコンコーキング剤にて固定、養生中です。



T10 人大天板
仕上がり状況。



ダイニング側
仕上がり状況。



キッチン側仕上がり状況。



キッチンとダイニングを結ぶ人工大理石天板がお皿のスムーズな出し入れに活躍されるものと思います。

(株)マルダイ 家具部 Da・monde 鈴木

平成 24 年 10 月 9 日